

14 番	高桑 茂樹 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1、令和8年熊本地震を踏まえて 【質問趣旨】 令和8年熊本地震は酷暑の中、比較的人口の多い都市部で発生した。 本市においても、今後想定される南海トラフ地震（震度6弱）が発生した場合に起こりうる、真夏の熱中症対策、避難者への対応、避難所運営等の対策について伺う。	(1) 令和8年熊本地震を受けた危機意識について (2) 避難者の状況について (3) 避難所運営について	① 令和8年7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1、熊本県宇城市と八代郡氷川町で最大震度7を観測する地震が発生した。国内で震度7を観測する地震は令和6年能登半島地震以来であり、改めてどのような危機意識を持たれたのか伺う。 ② 地震の発生時期が真夏であることから、被災者を危険な暑さから守る熱中症対策が新たな課題であると考えているが、見解を伺う。 ① 発災翌日の熊本県災害対策本部会議発表では、避難者数9,872名、避難所開設数465カ所とのことであった。被災者を守る「スフィア基準」では居住空間を1人当たり最低3.5平方メートルとした指標を設けていることから、初期段階では、避難者が避難所へ入りきれない状況が起きている。このことについて、対策を検討しなければならないと考えるが、見解を伺う。 ② 今年の7月4日、せと市民防災塾において「避難生活所！あなたはおうち派？避難所派？」というテーマで取り組んでいるなど、災害発生時の避難者について課題として取り組んでいる。そのことを踏まえ、自宅での避難や車中泊避難、軒先避難等を続ける人「見えない避難者」の確認方法を確立する必要があると考えるが、見解を伺う。 ① 発災直後の避難所の開設と運営は、市職員（地域防災支援員）及び施設管理者が避難者や地域住民の方々と協力して行い、開設後は避難者自らが中心となる自主運営組織を確立し、避難所を自主運営していくことの認識が大切であると考えているが、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	高桑 茂樹 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 安否札について	① 避難所運営において、事前の運営訓練として避難所運営ゲーム (HUG) が効果的であると考えているが、見解を伺う。 ② 学校と地域の連携として、7月13日に光陵中学校の独自教科「みらい科」による「地域防災教室」、8月20日に水野中学校体育館で開催された、市と小中学校教諭と自治会が連携する訓練を行った、「水野中学校区ティーチャーズアカデミー」は大変評価できる取り組みであり、市内中学校区へ広げていくべきと考えているが、見解を伺う。 ③ 今回、避難所となる中学校の体育館をどのように自治会等が運営していくのかが問題として浮かび上がり、担当課と学校、自治会と問題を共有する必要があると考えているが、見解を伺う。 ① 令和3年3月5日、本市と自治連合会は、地震発生時における市民の命を守るため、市民による安否確認 (せと市民総ぐるみ安否確認) の提唱を宣言したが、その経緯について伺う。 ② 安否確認を行うための安否札の掲出基準は、市内で「震度5弱」以上が観測された地震とされ、自治会単位で安否札などを活用して活動することを周知する必要があると考えているが、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。